

## 和歌山電鐵貴志川線 2019年度実績

# 新型コロナウイルス 経営を直撃 重大局面に

### 利用状況 ～ 電鉄発足後、初の年間200万人割れ ～

和歌山電鐵の2019年度利用者数は、前期比4.7%減(9万8千人減)の198万8千人となり、同社発足後14年目で初めて、年間200万人を下回りました。

2020年1月までの状況は、定期外は1.2%の微増、通勤定期は岡崎付近のバイパス完成等により4.0%の減、通学定期はさらなる少子化等により2.7%の減、という結果でした。

しかし新型コロナウイルスの猛威は公共交通機関を直撃。国内外を問わない観光客の落ち込みに始まり、学校

の一斉休校、職場の休業やテレワークといった外出自粛の結果、かつてない規模の利用の縮小に至っています。

利用者数	2019年度実績	前期比
定期外	68万3千人	▲ 3万9千人減 5.4%減
通勤定期	60万8千人	▲ 2万5千人減 4.0%減
通学定期	69万7千人	▲ 3万4千人減 4.7%減
合計	198万8千人	▲ 9万8千人減 4.7%減

### 収支実績 ～ 経常赤字は3千8百万円に ～

利用者数の減少に伴い運輸収入は1千8百万円の減少、そして観光客の激減によるグッズその他の減収も響き、営業収益全体では1千6百万円減の4億2千1百万円となっています。

支出面もさらなるコスト削減が図られましたが、施設整備への国庫補助金のさらなるカットや、安全性向上の

ためのマクラギ交換を進めた結果、一昨年の台風21号被害の対策工事等について自治体による臨時支援はあったものの、経常損益は3千8百万円の赤字となりました。

累積損失は4千9百万円となり、前期からの債務超過の状態が続いています。

### これから

新型コロナウイルスによる打撃は、本年4月の緊急事態宣言以降いっそう深まりました。4月～5月は年間を通じて最も収益を上げておかなければならない時期ですが、年度初めの定期券の発売は激減、定期券や回数券の払戻しも相次ぎ、払戻額が1日の売上を上回る日も生じました。また年間で最も利用の多いゴールデンウィークは壊滅的な状況となり、前期比で9割以上の減収となっています。

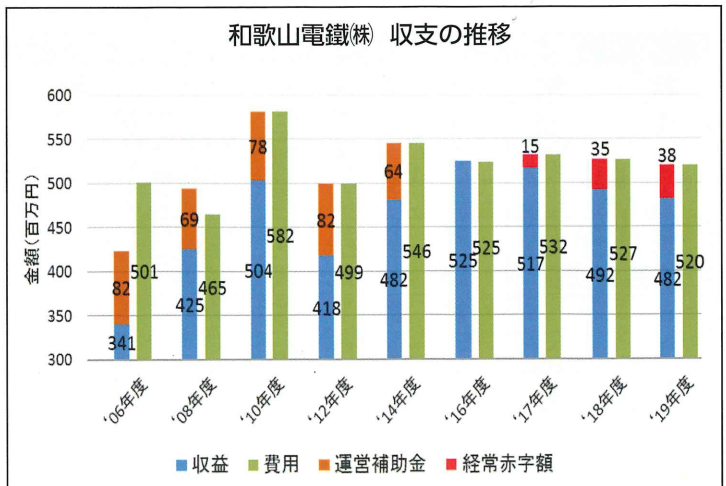
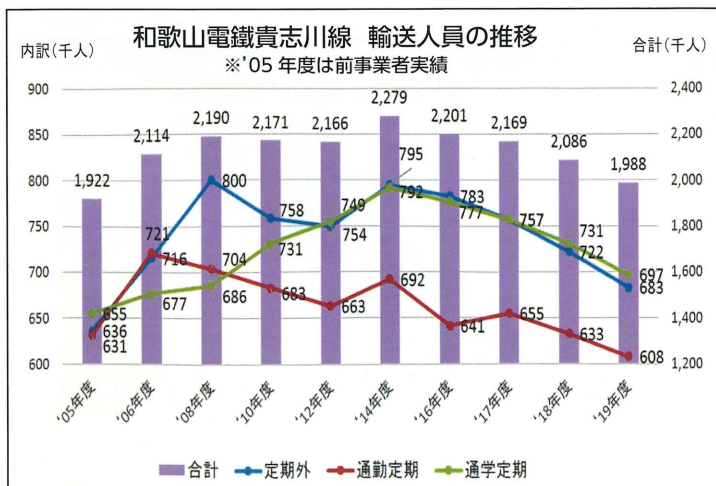
かねてより利益を一切上げられない経営モデルの中、車内はほとんど無人という状態で、感染のリスクを負い

ながらも、日々運行を続けています。公共交通機関として輸送機能の確保を求められ、また“密”も避けるため、減便は最小限にとどめざるを得ず、社員の休業効果もほとんどありません。

コロナウイルスが一定の収束をみて、さまざまな需要喚起策が図られるとしても、この失われた著しい損失は二度と取り戻せる規模ではなく、「コロナ後」まで維持できるのか、という重大な局面にあります。

すでに経営努力のレベルを完全に超えている状況です。

事態打開のため、一刻も早い支援と、経営モデルの抜本的な見直しが迫られています。





# “コロナ廃線”はあってはなりません。 一緒に貴志川線を守りましょう。

貴志川線の未来を“つくる”会  
代表 木村 幹生



日ごろ貴志川線をご理解、ご支援を頂いている皆様に厚く御礼申し上げます。

大勢の皆さまのご支援で好調に推移してきた貴志川線の業績でありましたが、ここ数年来、少子高齢化、災害復旧への対応、沿線道路の整備などの要因により、また乗客の減少、さらに外国人観光客の減少が続く、平成30年度には債務超過に陥りました。追い打ちをかけるように、コロナウイルスの問題は乗客の急減で今年度は和歌山電鐵の計り知れない業績の悪化が予想されます。再びの廃線問題が浮上してはなりません。公共交通である貴志川線の運行に大きな影響があれば、市民生活は混乱します。通勤・通学や年配者の病院通いなど交通弱者の困難、さらにはマイカー増によるCO<sub>2</sub>排出、省エネや街の活性化の逆戻り等々が予想されます。私たちのボランティア活動

も正念場です。15年前に必死

になって存続活動を行ったときの熱い気持ちを取り戻して、貴志川線永続のために、沿線住宅の方々を始め、関係各方面に支援を訴えなくてはなりません。

現実問題として、行政の支援による貴志川線の『**公有民営化**』の早期の実現を望みます。今までの人海戦術によるボランティア活動に加え、時代に即したSNSを通じての貴志川線への理解を求めるなど、新しい形での永続活動を考えねばなりません。まずは私たちが乗車の機会を増やし、もう一度ご近所や知人に乗車のお願いをすることから始まると思います。

コロナ惨禍の早い終息を願いつつ、地元の皆さまのご支援、全国の皆様方、行政の更なるご支援をお願い申し上げます。

## 永続にはあなたの行動が必要です!

ボランティアスタッフ募集しています。

参加頂ける方はお送りしております会費振込票のボランティアスタッフ登録を「希望します」に○印をお付け下さい。(年度毎更新です)

または、木村代表までご連絡下さい。

TEL: 0736-70-1070



## 会員限定 増量回数券

1家に1冊 利用しよう!

1冊25枚綴りで運賃は20枚分!

割引率はなんと**20%**!

お買い物の日のお母さんに 塾・アルバイトの日のお子さんに

一杯飲む日のお父さんに 通院の日のおじいちゃん、おばあちゃんに

ご家族みんなでご利用ください。

### 2020年度(令和2年)役員名簿

(2020年6月20日第3回定例会確認)

役職	名前	役職	名前	役職	名前
顧問	濱口晃夫	幹事	中西由子	幹事	次田尚弘
代表	木村幹生	//	小山裕史	//	鳥淵朋子
副代表	奥重視	//	吉本昌純	//	中西望
//	川村記義	//	岩垣勉	//	大谷豊
事務局長	奥山和生	//	山下日出子	//	岸光男
事務局次長	奥重貴	//	梶本祥子	//	有本友紀
//	富高彰	//	西本哲夫	//	堀洋子
会計	下崎良樹	//	川口昌宏	監査	中西充子
幹事	杉林雅義	//	稲置佳広	//	森山正雄
//	堀内建作	//	織田元宏		
//	堀瑛	//	藤田宗治		

## 小嶋社長メッセージ

### 会員の皆様へ



## 厳しい状況を脱して永続へは「公有民営」以外にない!

ここ数年、毎年、毎年の如く自然災害が起こり、特に2018年9月の台風21号では関西国際空港の連絡橋に暴風で流されたタンカーが激突して空港が一時間閉鎖されるなど和歌山県全体にも大きな被害があっただけでなく、順調に伸びていた海外からのインバウンド客が空港の閉鎖を一因として目的地を変える等の関西離れ、和歌山県離れが起っていました。

その最中、昨年末から中国・武漢市で広がった新型コロナウイルスは、3月には日本全国の学校が休校になるなど、かつて経験したことのないようなコロナ不安が社会や経済に襲い掛かってきています。

和歌山県でも病院で新型コロナウイルスのクラスターが発生しましたが、仁坂知事のリーダーシップと各自自治体一体の頑張りで国の基準よりはるかに早い発症者への対応で全国や世界でも称賛され、大きな危機を回避したことは和歌山県の誇りです。

和歌山電鐵でも、観光客の落ち込みに加え休校や休業・テレワーク等による通勤客の減少まで含めて、お客様が6~7割減少するという状況で、この新型コロナによる日本経済の落ち込みは、恐らく第二次世界大戦終結後、最も深刻な激甚災害となってしまいました。

和歌山電鐵の今後の経営を考えると、①少子高齢化に加え、②自然災害は予想もつかない規模や頻度であること、③新型コロナウイルス等でインバウンドの収入が激減することや④沿線の高速道路網整備で混雑解消からマイカー移転で通勤客が減少することへの対策。等への思い切った経営施策として「公有民営化」に歩を進めなければ、サステナブルな路線維持が難しい時期に来ていると思います。

今年4月29日のたま駅長の21回目の誕生日には、岡山市



▲「ニタマ電車」イメージデザイン

- ①たま電車2(ニタマ電車)でインバウンド等の観光客の再掘り起し
- ②日前宮~神前間の新駅設置及びスピードアップ化
- ③四季の郷公園との連携強化。例えばグリーンスローモビリティ等の足の確保の工夫
- ④交通センターの子ども交通公園としての安全教室と遊具の充実等での活性化
- ⑤平池緑地公園、大池遊園の楽しさ演出のテコ入れ
- ⑥沿線の花畑化(レンゲ、ひまわり、さくら等)
- ⑦沿線の果樹・野菜狩り推進(みかん、もも、ジャガイモ、たけのこ、ぶどう等)
- ⑧沿線開発の手助けで人口増加を図る一助になる工夫
- ⑨和歌山駅から和歌山市駅への延伸
- ⑩たま電車等をJR線で新大阪駅へ乗り入れることができる観光列車へ

これらの鉄道による地域活性化を和歌山発の取り組みとして、国、地方自治体、関係事業者、県民、市民と協力して、「公有民営」の本来の魅力を引き出していきたくと思います。

和歌山電鐵貴志川線の沿線を日本一の地方鉄道沿線として「つくる会」の皆さんと一緒に一層、活性化していきたく願っていますので、今後とも是非よろしくお願いいたします。

和歌山電鐵株式会社 代表取締役社長  
小嶋 光信

## 「公有民営方式」とは

線路、変電所、駅舎などの施設や車両を行政(公)が保有して、列車の運行や駅業務などを鉄道会社(民)が行う方法です。

鉄道には大量輸送や定時性、速達性といったメリットがありますが、その分、たくさんの施設が必要ですし、点検や修繕などの維持管理には多くのお金が必要です。

この役割を公が担い、鉄道会社に施設を貸し出すことで、存続が危ぶまれる地方鉄道の負担を軽減し、公共交通の維持を図るものなのです。

貴志川線を含め、ほとんどの地方鉄道は、赤字補てんや

施設整備等、地域によってさまざまな形態で行政から支援を受けることで存続していますが、このように上部(運行)と下部(施設)とをはっきりと区分[=上下分離]することで、公と民の役割分担が明確になります。

また、鉄道会社の経営が安定すれば、経営の悪化→サービスの縮小→利用者の減少→経営の悪化、という悪循環を断ち切ることができ、利便性やサービスの向上にもしっかりと取り組むことができます。

そして沿線地域にとっても、国庫補助の優先的な配分のほか、沿線住民の安心感の向上や、公共交通を活かした街づくりへの腰を据えた取り組みにも期待できます。

この公有民営化は、これまでに福井鉄道(福井)や京都丹後鉄道(京都・兵庫)など、現在、9つの路線で導入されています。



2019  
7月

83名入会

11月

メガたま駅長  
出現

12月

えっ!  
サンタさん



和歌山駅ホームで会費受付  
(7月3日~5日)



第13回「貴志川線祭り」3,000名来場  
(11月3日)



クリスマス電車でプレゼント  
(12月22日)

2020  
1月

2月

20団体で  
ワーク  
ショップ

雨にも負けず



山東~大池桜並木手入れ  
(2回目1月19日)



「貴志川線のさらなる発展をめざす  
2020新春交歓会」  
(2月2日)



第9回「駅からウォーク&  
ハイキング」(2月16日)

きれい  
に  
咲  
き  
ま  
し  
た

参加者募集 「貴志川線プロジェクト」キックオフ

和歌山電鐵と貴志川線の未来をつくる会は、2020年2月2日「貴志川線のさらなる活性化を目指す新春交歓会」を各界20団体の参加を得て開催し、地元や学校、企業との連携、地元住民の参画、新しい提案など「グループワーク」を行い、まとめを和歌山電鐵ホームページで報告させていただきました。出された意見、アイデアの実現へ、参加いただいた学生さんや関心を持っていただく皆さま自身の参画と協働によって

実現へ取り組んでまいりたいと考え、今回よし一緒にやろうと思って下さる方々にお集まりいただき、プロジェクトを発足させ取り組みを開始します、ぜひご参加下さい、お待ちしております。(発足は、コロナウイルスの関係で未定)

ご連絡・お問い合わせ先  
和歌山電鐵株式会社(麻生、竹添)  
Tel: 073-478-0110  
e-mail: aso@wakayama-dentetu.co.jp

貴志川線の電車紹介①

「いちご電車」

2006年(平成18)8月6日、貴志川線第1号リニューアルデザイン電車として登場、(デザイン水戸岡鋭治さん)貴志駅周辺の特産品のいちごをモチーフに、赤と白が映える外装や、いちご柄のシートが可愛く親しまれています。リニューアル費用に「いちご電車サポーター」を募集、わずか2ヶ月間で2,557件、1,099万3,000円が集まり、個人や団体の名前プレートが車内に掲示されています。



お知らせ

●「たけのご掘り」、「じゃがいも掘り」中止について  
会員の皆さまが楽しみにされていた、4月の「たけのご掘り」と6月の「じゃがいも掘り」イベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ながら開催見送りとしてさせていただきます。

植え付けた「じゃがいも」は関係者で収穫し、「子ども食堂」への提供と「貴志川線ご利用感謝デー」プレゼントとして、6月9・10両日和歌山駅貴志川線ホームで200名のご利用者に配布させていただきました。

●会費のコンビニ払いについて  
かねてから多くの要望がありました、会費のコンビニ払いにつきましては、来年度から実施の方向で準備を進めてまいります。

トピックス

貴志駅前駐輪場に上屋設置!

紀の川市の取り組みにより、貴志駅前の駐輪場に上屋が整備されました。

雨の日には大切な愛車、自転車やバイクが心配...だったかと思いましたが、朗報ですね。

少しずつですが、他の駅にもこのように整備されていくことを願っています。



和歌山ライオンズクラブから助成金

本会は、2020年4月に実施された、和歌山ライオンズクラブCN60周年記念事業「ボランティア支援事業」の第二次審査プレゼンテーションに参加し、選考の結果「助成金5万円」をいただきました。

これを全額和歌山電鐵へ寄付し、老朽化した駅設備改修の一部に当てていただくこととなりました。

5月9日 大幅なダイヤ改正実施

運転士等の人材確保が非常に困難な中での働き方改革への対応、そして近年のご利用実態の変化に合わせた、ダイヤ全体の見直しが行われました。夕方と和歌山~伊太祈曽間の運転間隔は広がっていますが、30分に1本の覚えやすいパターンダイヤになるとともに、山東に遠の利用者にとっては待ち時間の短縮につながっています。

こうした見直しによっても、将来にわたって住民の足が確保されていくことを願います。

安全性向上は日々進んでいます

この1年も、神前~交通センター前間の道床・まくら木・レールといった線路一式や、踏切制御器、無線等の設備が更新されました。

また、一昨年の台風21号により被害を受けた山東~大池遊園間の隣接斜面にも、県・沿線両市の緊急支援により、対策工事が施されました。

安全・安心の取り組みは日夜続けられています。



つくる会活動日誌 (抄)

2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)
6月 15土 31年度第4回定例会 以降月2~1回年度内17回開催	1月 5土 たま駅長誕生13周年記念催事(ニタマ電車デザイン発表)5名
20木 31年度第3回貴志川線運営委員会、以降月1回12回開催	11土 貴志駅イルミネーション撤去作業(7名)電鐵と合同
23日 会報、会費納入お願い文書発送作業(47名)	19日 桜並木手入れ②(山東~大池遊園)(9名)電鐵と合同
30日 大賀ハス観蓮会(平池緑地公園)ベトナム首相来場(3名)	30木 貴志川線のさらなる活性化をめざす新春交歓会 打合せ6名
7月 3水~5金 和歌山駅9番ホーム会費受付(延べ13名)入会83名	2月 2土 貴志川線のさらなる活性化をめざす新春交歓会20団体、45名
27土 西貴志コミセン夏まつり グッズ販売出店(6名)	9日 じゃがいも種芋植付け作業(10名)全体で50名
8月 5月 御坊市中学生派遣事業 現状報告 貴志駅前「紀楽里」	16日 第9回駅からウォーク(雨天で参加者20名、7名)
6火 四季の郷公園リニューアル 第1回魅力化部会(2名)	22土 ニタマ駅長就任4周年、キャラクター発表 貴志駅(4名)
10土~13火 貴志駅夏季多客期応援(延べ13名)	3月 15日 大池遊園駅、桜まつり飾り付け(11名)電鐵と合同
9月 5木 第5回絵紙電車 車内掲示作業(4名)、紀北郵便局長会参加	16日 第5回四季の郷公園活性化協議会(1名)
12木 第13回貴志川線祭り 第1回企画委員会(5名)電鐵と合同	18水 和歌山ライオンズクラブ記念事業2次プレゼンテーション(1名)
10月 6日 紀の川市西貴志コミセンまつり、グッズ販売(5名)入会(2名)	28土 「ぶる博」電鐵イベント コロナウイルスで中止
12土~13日 「わかやま商工祭り」中止(台風接近のため)	4月 10月 長原北・鳥居地域環境保全会役員会(じゃがいも掘り)(3名)
16水 第13回貴志川線祭り 第2回企画委員会(9名)電鐵と合同	11土~18日 第15回たけのご掘り コロナウイルスで中止
18金 貴志川町内幼稚園、保育所貴志川線祭りポスター・ちらし配布	19日 じゃがいも掘り準備 草引き コロナウイルスで中止
23水 貴志川線祭り 会員への案内はがき発送作業(5名)	26日 改正時刻表戸別配布、西山口・大池駅周辺1,200戸(11名)
26土 貴志川線祭り ボランティア担当指定検討会議(5名)	和歌山県中央メーデー ミニトレ運転 コロナウイルスで中止
11月 2土 第13回貴志川線まつり準備作業(12名+電鐵社員)	5月 2土~6火 貴志駅GW応援、コロナウイルスで中止
3日 第13回貴志川線まつり(来場者3,000名)	12火 会報16号第1回編集委員会(7名)
スタッフ126名(役員18、ボランティア登録者52、団体56)	31日 会報16号第2回編集委員会(6名)
16土 桜並木手入れ①(山東~大池遊園)(9名)電鐵と合同	6月 6土 じゃがいも収穫(じゃがいも掘りコロナウイルスで中止)
21木 四季の郷公園リニューアル 第2回魅力化部会(1名)	9火~10水 「ご利用感謝デー」和歌山駅でじゃがいも配布
27水 31年度会費納入再要請文書発送作業(5名)	
30土 貴志駅イルミネーション取り付け、点灯式(13名)電鐵と合同	
12月 6金 紀の川市長山岡地自治会役員会実状報告(3名)電鐵と合同	
21土 クリスマス電車プレゼント袋詰め作業(11名)電鐵と合同	
22日 クリスマス電車運転応援(11名)(参加者150名)WEB先着順	
23月 第4回四季の郷公園活性化協議会(2名)	
27土 門松製作、伊太祈曽駅、貴志駅に設置(6名)電鐵と合同	



貴志川線の未来を“つくる”会

# 2020年度(令和2年)活動計画

## 地域の財産、貴志川線の永続をめざして「公有民営化」への道を開こう

### I. はじめに

2019(令和元)年度は、行政の支援が欠損補助から設備整備の支援に変わった中での4年目でした。今期も自立経営に向けて、「キシカイセイプロジェクト」を掲げて懸命の取り組みを進めてきました。

2020年初からの新型コロナウイルスによる、外出自粛や学校休業の影響をまともに受け、2019(令和元)年度決算は和歌山電鐵発足以来最悪の厳しい結果となり、債務超過の状態が続いていることから、このまま経過すれば経営破綻に至ることが予想されます。

今後も沿線の就業人口の減少や少子化、道路整備も進むという厳しい状況が続きますが、貴志川線は私たちの暮らしを支える公共交通としてなくてはならない鉄道です。

私たちは貴志川線を必要とし、応援する住民のボランティア団体として、住民の熱意と行動を集め、永続を目指して引き続き活動します。

### II. 基本方針

地域の財産であり住民の足としてくらしを支え、また和歌山県観光の大きな資源である「貴志川線」の活性化と永続をめざすためには、取り巻く厳しい環境をみる時、もはや早急に「公有民営化」の実現を図る以外にないと考えます。

「公有民営化」実現を目標に掲げ、乗車人員250万人の実現めざして、住民の利用促進、イベントの開催、公共交通の整備促進などに、和歌山電鐵、自治体、関係諸団体と連携して活動を進めます。

### III. 重点目標

- (1)「公有民営化」の実現にむけSNSによる気運の醸成と利用促進
- (2)快適・便利で利用しやすい貴志川線づくり
- (3)会員2,000人を目指し、組織の若返りによる活性化
- (4)大池遊園駅対向設備復活、日前宮前～神前駅間新駅設置

### IV. 具体的な取り組み

- (1)住民の声と想いを結集して活動できる組織づくりに取り組みます
  - ①会員拡大へ積極的に入会呼びかけを行います
  - ②ボランティアスタッフへの登録と、活動への参加を進めます
  - ③会員限定イベントを開催いたします
  - ④定例会への参加を呼びかけ、若返りと態勢の強化を図ります
- (2)利用促進と貴志川線の魅力発信イベントを電鐵と協働して取り組みます
  - ①「チャレンジ250万人」運動に取り組みます
  - ②新たな力の結集へ、各界に呼びかけ「貴志川線活性化プロジェクト」に取り組みます
  - ③たけのこ掘り、じゃがいも掘り、貴志川線祭り、ウォーキングを中心にイベントに取り組みます
  - ④駅設備、ダイヤなど要望の集約と提言を行い、その実現をめざします
  - ⑤地域のイベントに積極的に参加し、地域の団体との協働に取り組みます
- (3)広報、PR活動に取り組みます
  - ①会報発行、入会促進リーフレット作成、ホームページの活用、「のぼり」の製作・掲出
  - ②SNSによる情報発信の強化
- (4)地方鉄道の存続と活性化へ学習・政策活動に取り組みます
  - ①「公有民営化」についての学習

6月	じゃがいも収穫作業 会報と会費納入依頼発送作業
7月	和歌山駅ホームで会費受付
8月	夏休みイベント 貴志駅お盆多客繁忙応援
10月	和歌山商工まつり 出店 コミセンまつり(旧貴志川町) 出店
11月	第14回貴志川線祭り
12月	貴志駅イルミネーション クリスマス電車 迎春準備、門松製作
1月	貴志川線の活性化をめざす新春交歓会 駅からウォーク&ハイキング たま名譽駅長誕生日催事
2月	駅からウォーク&ハイキング じゃがいも掘り植付け作業
3月	いちご電車でいちご狩り 地方鉄道交流学習会(予定)
4月	和歌山電鐵開業記念日催事 大池遊園「桜まつり」 貴志川線に乗ってたけのこ掘り じゃがいも掘り草引き作業
5月	和歌山県中央メーデー 出店 貴志駅GW多客繁忙応援 会報発行編集作業

※事情により変更される場合があります。

## 貴志川線に廃線の危機がありました =走っていて当たり前、突然の話でびっくり=

17年前の2003年10月、貴志川線に廃線の危機が訪れました。当時運営していた南海電鐵が、年間5億円の赤字を理由に貴志川線の廃止を表明したのです。

すぐに沿線自治体や団体が行動を起こし、存続を求める25万人の署名を集めました。2005年9月末で廃線にすることが正式に発表されました。

2004年9月、住民団体の「貴志川線の未来をつくる会」が結成され、存続を求めてさまざまな取り組みを行い、会員は必至の呼びかけに応え6千人が入会し大きな力となりました。この住民の熱意に応え2005年2月、和歌山県・和歌山市・

貴志川町(当時)からの援助が決まり、公募により「岡山電気軌道」が選ばれ「和歌山電鐵」が誕生しました。

2006年(平成18)4月1日、早朝の貴志駅にあふれる500名が見守るなか、住民の万感の思いをこめ始発電車が発車し、来年には15周年になります。

新生貴志川線は、住民の熱意と行動、事業者の経営努力、行政の援助で走り続けていますが、経営は厳しい状況が続いています。

再び、廃線の危機を迎えないために、利用促進ははじめ一層の取り組みが必要となっています。



# 2019年度(令和元年) 貴志川線の未来をつくる会 会計決算報告

2019年4月1日～2020年3月31日

## 2019年度(令和元年)会員は1,924名、ご入会ありがとうございました

2019年度(令和元年)会計決算についてご報告いたします【2020年度(令和2年)第2回定例会で承認(2020年5月9日開催)】

### 一般会計

- 収入は、会員1,924名の会費と前年度繰越金および寄付金(468,311円)、和歌山電鐵グッズ販売手数料、貴志川線祭り売り上げ、預金利息等で、収入総額は3,464,823円となりました。
- 支出は、事業費(利用促進イベント開催、「たけのこ掘り」と「じゃがいも掘り」会員限定負担等)と通信費(会費納入案内、会員限定催事案内)が約74%を占め、広告宣伝費(のぼり、入会案内等)は昨年度作成残を運用でゼロ計上、交通費は定例会、イベントの実費で総額は229万8,646円となりました
- 収入、支出の郵貯振替は、会費入金タイムラグによる年度初の費用として運用したものです。
- 新型コロナウイルスによる年度末期イベント中止により、支出が抑えられ収支決算繰越金116万円6177円となり全額2020年度一般会計に繰り入れます。

### 「基金」および「特別会計」

- 「貴志川線整備基金」について 貴志川線の施設、車両の老朽化に備えて2007年(平成19年)から積み立てています。今年度支出は無く昨年度残額に利息128円が増額となりました。
- 特別会計は、「ニュース和歌山25周年記念助成金」(平成20年3月12日)と、「きしがわ文化財研究会」からの寄贈(平成28年4月8日)の残額で今年度支出は無く利息3円が増額となりました。

## 2019年度(令和元年)決算報告

### 〈収入の部〉

科目	金額	摘要
前年度繰越金	760,694	
会費	1,932,187	現金と郵貯振替入金
雑収入	571,942	寄付、グッズ販売手数料等
郵貯振替	200,000	
合計	3,464,823	

### 〈支出の部〉

科目	金額	摘要
通信費	511,120	会費納入・イベント案内等送料、電話代
広告宣伝費	0	
事業費	1,193,359	各イベント開催費用、イルミネーション等
事務費	258,230	コピー使用料、倉庫借用、事務用品等
交通費	135,937	イベント38件、スタッフ153名実費
郵貯返金	200,000	郵貯へ振替返金
合計	2,298,646	

### 〈収支決算〉

収入	3,464,823
支出	2,298,646
次年度繰越金	1,166,177

### 〈繰越金内訳〉

普通預金	967,677	(紀陽銀行国体道路支店)
現金	198,500	
合計	1,166,177	

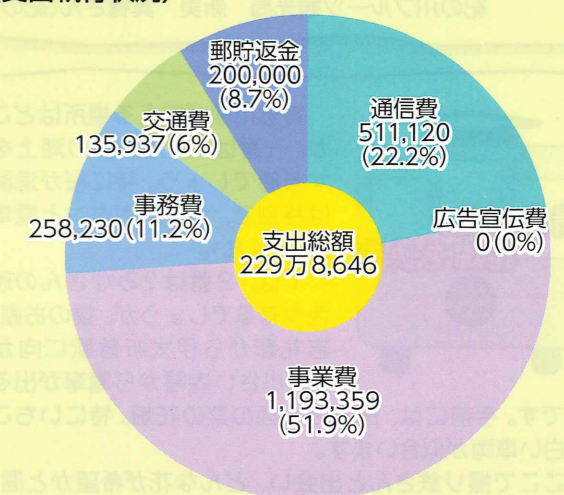
### 〈基金内訳〉

定期預金	1,510,719	(紀陽銀行国体道路支店)
		(前期繰越1,510,591円と利息128円)

### 〈特別会計内訳〉

普通預金	759,513	(ゆうちょ銀行 友田郵便局)
		(前期繰越759,510円と利息3円)

### 〈支出執行状況〉



## 会計監査報告

2020年5月9日

貴志川線の未来を“つくる”会  
代表 木村幹生 殿

監査 森山正雄  
監事 中西亮子

貴志川線の未来を“つくる”会 会則第6条第8項にもとづき2019年度(令和元年度)会計監査を実施したので、下記により報告します。

記

1. 監査実施日 2020年5月9日
2. 監査場所 貴志川線の未来を“つくる”会事務局
3. 監査対象 2019年度会計
4. 監査期間 2019年4月1日～2020年3月31日

監査の結果、帳簿・証書類等が、正確かつ適正に処理されていることを認めましたので報告いたします。

以上



# ひろば

会員、交流団体の皆さまからのお便りをご紹介します。



前職の「紀の川市地域おこし協力隊」の取り組みで、3年前、貴志駅前  
で周辺地域のみなさんと一緒にイラストマップを作るワークショップを  
開催しました。貴志駅を訪れる外国人観光客の方々が周辺を歩く際、喜  
んでもらえるような魅力を実際に歩いて探し出し、みんなでイラストを  
描いてつくろうという企画です。

外国人観光客の方に喜んでもらえるかな？という視点で周  
辺を歩いてみると、立派な鬼瓦やいちじく畑、写真が撮りやす  
い踏切など、わたしたちが普段見慣れているものが魅力に早  
変わり。みなさんの暖かな歓迎の気持ちとたくさんの魅力が詰  
まった手づくりマップができあがりしました。マップのイラスト  
を見た外国人観光客の方には「Cute！（かわいい！）」と喜んで  
もらうことができました。貴志川線を大切に思い、観光客の  
方々をおもてなししようと動くみなさんが、一番の魅力だと  
感じました。貴志川線はねこの駅長で有名ですが、なにより  
地域に愛されている路線だということをたくさんの方に知っ  
てもらえたらうれしいです。

紀の川フルーツ観光局 新美 真穂さん(紀の川市)



私は高校通学のために、毎日貴志川線を利用しています。私が小学生の頃は電車に乗る機会が少なかったので、貴志川線はかわいい電車が走っているな、としか思っていませんでした。でも高校生になって毎日電車を利用するようになって、貴志川線を支えてくれる人がたくさんいることに気づきました。

電車の運行時間の合間を縫って線路や踏切の点検している人、暑い日も寒い日も駅を掃除してくれている人など、毎日のように見かけます。

また、貴志川線には人の温かみを感じます。朝、電車を降りる時に駅員さんがにこやかに「頑張れ」と声をかけてくれることがよくあります。小さなことかもしれませんが、その言葉が一日のちょっとした力になります。

貴志川線には他の所のない魅力をたくさん持っています。貴志川線は運転免許を持っていない祖母にとってはなくてはならないものです。

私の父は、学生の頃、私と同じように貴志川線で毎日通学していました。そんな温かみや人のつながりを感じる貴志川線を大切に、これからも乗っていきたいです。

高校2年生 ぼんすけさん(紀の川市)



貴志川線が映える場所はどこですか。一番は、大池遊園の湖上を通過する時でしょう。特に桜が満開の時は格別で、ガタンガタンと電車音も気持ちいい。

では、2番は？みなさんの思いは色々あるでしょうが、僕のお薦めは、吉礼駅から伊太祈曽駅に向かう途中、小さい森陰から電車が出るところです。手前には、田んぼ一面の菜の花畑。特にいちご電車の白い車両が似合います。

ここで撮り鉄さんと出会い、どんな花が希望かと聞くと、秋にはピンクのコスモスが似合うとか。以前ボランティアの方々と、車窓からコスモスが見えるようにと、堤防に植えたコスモロードが思い出されます。

私たちが活動する「山東まちづくり会」が取り組んできた活きた風景は、今後も貴志川線の未来をつくる会さんと共に、今後も風景を造り残す取り組みとして続けたいと願っています。

最後に電車を見ているだけでは、貴志川線は残せません。乗って残そう貴志川線。みなさんのご協力をお願いします。

山東まちづくり会 滝本 守さん(和歌山市)



私は高校へ通った3年間、貴志駅から出ていた通学バスを利用していたのでほぼ毎日貴志川線にお世話になっていました。ある日の学校帰り、駅のベンチで座っていると中国人の男性が一人話しかけてきました。「次の電車は何時ですか？」。時間を教えると「ありがとうございます」と言い、隣のベンチに座りました。昼間に訪れると観光客で賑わっている貴志駅ですが、カフェが閉まると人が少なくとても静かです。その男性は間違っ

てカフェも売店も閉まっている時間に来てしまったようで、少し可哀想だと思いました。駅には彼と私しかいなかったため、電車が来るまでしばらく話をしていました。

その日の夕暮れはとても鮮やかなピンクとオレンジの空でした。彼はそれを見て、「こんな綺麗な空、僕の故郷では見れないな。日本人は本当に恵まれているよ」と言いました。普段何気なく見ていた夕景も、ここだから見られるものがあると改めて感じました。あれから綺麗な夕空を見るとあの日のことを思い出して、ここに住んでいてよかったなと思います。

6代目「紀の川フルーツ娘」 烏野 笑奈さん(紀の川市)

## 貴志川線の未来を“つくる”会 2020年度(令和2年)新規継続入会募集中

引き続き貴志川線の発展へ活動が続けてまいります。

2020年度(令和2年)会費の納入につきましてご協力いただきますようお願い申し上げます。

■会費 年額1,000円(期間:加入日に関わらず2021年3月31日まで)

■納入方法 郵便局振込み 口座番号:00960-1-277944

(事務局)和歌山市伊太祈曽558伊太祈曽神社内(9:00~17:00)

和歌山駅9番ホームで受付 7月8日(水)、9日(木)、10日(金)15:00~19:30

編集・発行/貴志川線の未来を“つくる”会

